

田干し・水交換で根に酸素を届け、 土壤還元(ワキ)を予防しよう！

◎ワキの影響は深刻です！

高温が続くと、土壤還元（ワキ）が急激に進み、根傷みが起こります。根傷みにより根の伸長や養分吸収が阻害されると、初期生育（特に莖数や葉色）が緩慢となります。また、夏の暑さに耐えられる水分吸収ができなくなり、登熟期の養分吸収能力も低下し、減収につながります。

◎具体的な対策方法（近年の稲作の最重要ポイント）

① 一発除草剤散布前に水交換を行う。

※既に除草剤を散布している場合は、散布後7日が経過したら田干しを行ってください。

② 6月に入り、1～2日程度の田干しを1回以上行う。

※田干しの期間は、砂質土壌や水持ちの悪い場合は1日、粘土質土壌や水持ちの良い場合は2日程度とします。

例年ワキがひどい場合は、6月半ば頃までに複数回行いましょう。



➤ 中干しまで水を切らしてはいけない、と思い込んでいませんか？

➤ 上記の対策方法のとおり
ためらわずに
水を落としましょう！